

路地百選推薦書【No. 2 3 6】

推薦者氏名：司波 寛

推薦する路地（のまち）の名称	長崎市の傾斜地の住宅地
所在地	伊良林、立山地区等

【推薦する理由（路地のよいところ）】

長崎の住宅地は、まだ自動車が一般化するはるか以前に斜面に這い上がる形で発達した。そのため、狭い幅員と急傾斜の石段が基本となっている。寺の石壁等で培われた石の技術が大きな役割を果たしているようだ。多くは、自然石を使っており、垣根や庭木による緑とともに、独特の景観をつくっている。屈曲が多く、歩を進めるとともに景観がどんどん変わる面白さがある。近年になって、蛇行型の車道がつけられ、要所に駐車場が設置され、車も使えるが、生活の基本は徒歩である。坂本龍馬が拠点とした亀山社中もこうした住宅地の一角を占めており、今、記念館となっている（建物は当時とは別）。

【写真添付】



路地	面積	約 h a	路地の延長	約 m
のまちの概要	まちの成り立ち、特色等	江戸中期までは、斜面の寺群が市街地のフリンジを掲載していたようだが、海外貿易による稼ぎで、江戸後期には寺群の背後にも住宅地が形成されていったようだ。明治から大正にかけての都市拡大期には、かなり無理な造成も行われたようである。		

※路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。